

元旦歩こう会 参加者は これまでの最高

十三回目の元旦歩こう会が、行われました。元旦の朝は、前日の悪天候と変わって穏やかな空で、元旦歩こう会には、これまで最高のお六百人が参加して四・三キロの道を、元気に歩きました。

参加者の最高齢は、城山の渡辺与一さんで、八十五歳でした。しかも渡辺さんは、子孫ひ孫を引き連れての参加で、今年も元気な足取りを見せていました。渡辺さん一家の他の参加者は、渡辺さん(六十三歳)、喜治さん(四十二歳)、隆君(一〇歳)でした。

また、法花鳥居の渡辺亮さんは、家族六人で参加しました。これまでの十回を、全部参加した人は、次の六人

堀茂雄さん(栄町) 小山ハツミさん(嘉山) 鈴木静雄さん(長場) 中沢富さん(嘉山) 山田チエさん(栄町) 鶴間シブ子さん(栄町)

好天に恵まれ、今まで最高のお六百人が参加した元旦歩こう会(新大橋で)



谷沢さん(早通)が南米移住

谷沢喜巳雄さん(早通、二五歳)が、ブラジルに移住するため、一月十日、豊栄をあとにしました。

谷沢さんは、豊栄高校卒業後、横浜市の食品会社に勤めていましたが、広大なブラジルの地での農場経営の夢ふくらみ、脱サラの第一歩を踏み出したものです。

サンパウロで、雇用農として働き、将来は、農場主をめざします。

納税標語で1位一葛中の月岡さん

新築田納税署では、先ほど管内の中学生から納税についての標語を募集しましたが、葛塚中学校三年の月岡真美さんの作品が、みごと一位に入選しました。

この標語は、これから行われる確定申告の会場などで、PRに活用されます。

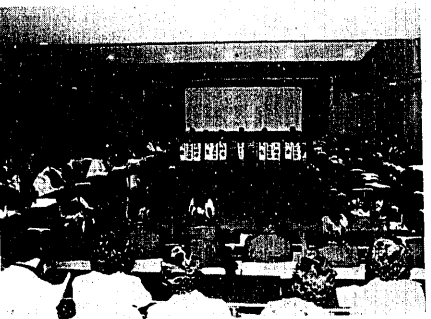
(入選作品)
納税は明るい日本のエネルギー!

対話ってすばらしい 母親と子の座談会

母親と子の座談会が、十二月十七日、中央公民館で開かれました。

この催しは、人権擁護啓発運動の一環として行われたもので、親子がよりよい人間関係を築くことを目的としたものでした。

市内の四中学校の二年生五十人と中学生を持つ母親五十人が出席し、教育映画の「中学生日記」を見た後、四分科



「親とは、子とは」と活発な意見が交換された母親と子の座談会(中央公民館)

●岸本先生の感想
自分の存在を認めてもらいたい—万引きの心理もそこ

親子のう原因
かたう原因
独立し
自由で
ありた
い。そ
れらの
ことを
親がつか
めず
苦勞し
ている。
好まし
くない
お母さ
ん

●社会福祉事務所へ
熊倉巳一郎さん(早通)は、社会福祉基金として一〇,〇〇〇円
新潟市の人(匿名)が、歳末たすけあい募金へ一〇,〇〇〇円
航司文子さん(種ノ入)は、マスコット人形(約九百個)を、市内の保育園児に、相馬セツ子さん(白新町三)は、社会福祉基金として一九、二八三円

寒風の中で消防出初め式 清水さんらに功労表彰



はしご車なども出動し、市街地行進をした消防出初め式(1月6日下町で)

一月六日、恒例の消防出初め式が、中央公民館で開かれました。

雪が舞いちらる寒い日でしたが、はしご車や化学消防車など、消防出初め式に新潟県消防協会より十数台の出動し、市街地を行進しました。

消防出初め式の表彰は次のとおりです。

○新潟県知事並びに新潟県消防協会より十人以上出動した表彰
清水謙(才八分団) 飛鳥井英術(才一分団)

○新潟県知事並びに新潟県消防協会より十人以上出動した表彰
橋本豊泰(才三方面隊) 古沼光雄(才八分団二部三) 曾我和男(才九分団一部三) 川崎敏雄(才九分団一部三) 坂田嘉雄(才三分団二部二) 渡辺武明(才三分団二部三) 野崎利之(才五機動分団二部) 佐藤徳栄(才八分団一部三) 曾我正英(才九分団一部三) 阿部義男(才九分団一部三) 大沼将八(才九分団一部三)

○豊栄市長より消防施設の設置協力により感謝状を授与された者
日本中央競馬新潟競馬場 内島見自治会 上黒山一區自治会 村新田自治会

○消防協会二市北蒲原地区支会長より部外功労章を授与された者
内島見自治会 横山和平(下大口) 鈴木清之(内島見)

○豊栄市消防団長より部外功労章を授与された者
横山和平(下大口) 鈴木清之(内島見) 長浦農業協同組合 高井利雄(内沼沖)

○豊栄市消防団長より優良団員として表彰された者
島山厚(才三機動分団) 相馬卓司(才四機動分団) 藤敏隆(才九分団一部三) 藤敏隆(才九分団一部三) 才一分団二部四班(法花鳥居) 才一分団二部二班(下黒山) 尾山機動分団 才八分団一部二班(森下) 才九分団一部二班(大月)

○豊栄市消防長より感謝状を授与された者(昭和五十四年五月七日、上大口地区に発生した火災で、早期発見と初期消火に從事し、延焼拡大を阻止)
小林善信(上大口) 岩田正(上大口) 森田誠(北蒲原郡加治川村)

このほか多くの方が表彰されました。

市民文芸

豊柳十二月号「わすれる」
諸橋 山雨
忘却の節目が移る失意の日
小池 浜
飲みぐすり忘れるようならもう元氣
三村 豊
何も彼も記憶喪失してみたら
品田 浪乱
今食べたことを忘れる不幸
三膳 一男
幸せな日々を忘れたかぞえ男
中川 草舎
恍惚の坂道荷物を置き忘れ
佐藤啓四郎
忘却の彼方に九段の大鳥居
水田蛙太郎
ネオンの灯も女房の釘が抜
け
井上 睦子
逆境の日々忘れていた涙
俳句
新年俳句会 豊栄市俳句会
打ち返す土に風花吸われ行く
高橋 紅夢
風花や生活の地下足袋に足緊めて
松永 松翠
鼓声の市場に充ちて風花す
青柳 呼舟
青空の見えるながら風花す
後藤ヨシエ
初午や男児と定め産着縫う
高橋 香雪
風花や味噌煮る釜の噴きこぼれ
渡辺 大山
風花や鏡が出揃う日雁夫
古田島汀智
初午や燈火あやしき竹の暗
豊田 幸泉
眼科出て老の眼裏風花す
鈴木 宝竹
午祭囃はた／＼春呼ぶ音
八田 蝶二
南天の暈が生きている雪兎